

実需者等のニーズに応じた加工適性を持つ野菜品種等の開発

1. 業務・加工用に適したタマネギ品種と省力・安定生産技術の開発



東北地域の冬春まき栽培に
適応する2品種を市販化

(カネコ交配) マルソー

早晩性	早生	←————→						晩生		
秋まき	タ	オ	ネ	ス	も	ラ	ケ	マ	ガ	北海道品種
早生品種	イ	オ	オ	ワ	み	ツ	ル	ル	イ	
	ザ	ロ	ア	ロ	じ	キ	た	ソ	ア	
	ン	ラ	ス	ー	3	ー	ま	ー		
	種				号					

直播栽培技術のマニュアル化

- リン酸直下施肥の高度化による減肥・省力技術体系
- 多粒まきによる低コスト・省力的秋まき直播体系

タマネギ直播栽培における直下施肥を用いたリン酸肥料の減肥技術

タマネギ直播栽培の低コスト化につながる生育促進とリン酸減肥が可能な、リン酸肥料の層播直下施用技術マニュアル

研究背景の概要

輸入産鮮野菜の第1位はタマネギであり、国産品への需要拡大に伴い、生産量の拡大と生産者間の競争力向上が求められる状況が示されている。

耕作期に多い水田止等のリン酸肥効が低い農地や、従来のリン酸施用による初期生育促進と省コストの両立が図られていない。

研究概要の内容

改良したタマネギ種子の直下へのリン酸肥料施用による生育促進とリン酸減肥の両立を図るための技術開発。

「層播直下施用」によるリン酸肥料の減肥効果（50%削減）と生育促進効果（10%増産）の両立が確認された。

「層播直下施用」によるリン酸肥料の減肥効果と生育促進効果の両立が確認された。

「層播直下施用」によるリン酸肥料の減肥効果と生育促進効果の両立が確認された。

多粒まきによる低コスト・省力的秋まき直播体系

「多粒まき」による低コスト・省力的秋まき直播体系

「多粒まき」による低コスト・省力的秋まき直播体系

「多粒まき」による低コスト・省力的秋まき直播体系

北海道地域マッチングフォーラム等を活用し技術普及推進

2. 業務・加工用に適したネギ品種と安定生産・効率的調製技術の開発

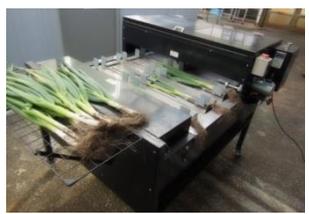
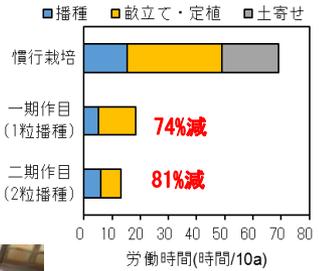
端境期である春と夏の安定生産に向けた
新品種と栽培技術を開発

ネギ安濃交10号



- ネギ安濃交10号(夏どり) : 品種登録出願予定
- ネギ安濃交7号(春どり) : 調査継続中

- トンネル・マルチ栽培による抽苔抑制技術。A品率高い安濃交7号が現地で高評価 (茨城県)
- タマネギ機械を活用したマルチうね栽培による省力・低コストな二期作型 (富山県)



実需ニーズに対応した長さ調整機能付き根葉切機を製品化

3. 業務・加工用に適したキャベツ品種と安定生産技術の開発

寒玉キャベツの端境期(4-5月)に収穫可能な新品種を育成



- YR503: 夏まきで4月下旬まで収穫可能
- NNS-C-91: 秋まきで5月上旬収穫が可能

各地域に適した品種と播種・定植時期、栽植密度、施肥技術をマニュアル化

